

は、はじめ平均からのずれの総和，すなわち，偏差の総和を求め，つぎにこれを平均して1人当たりのずれの大きさを求めようとしたんだね。さあ，そうすると，偏差の総和は0であったから，この平均はどうなる。

P₄ 0を3で割りますから，もちろん0です。

T そうすると，A組の場合，B組の場合はどうなるかな。

P₅ 偏差の総和はいつでも0ですから，0を平均しても0ですから，どちらの場合も0です。

T うん，そうなんだね。偏差の総和の平均というのは，等しく0になってしまう。だから，平均値のまわりのばらつき具合を示すものとしては，これは不合格ということになる。残念だね。考え方は大変良かったんだが，このずれの総和は0になってしまうんだね。プラスとマイナスのずれがあったものなあ。さあ，何かほかにうまい考えはないだろうか。

P₁ ……先生，それでは，ずれに絶対値をつけて総和を求めれば良いと思います。そして平均すれば……。

T うん，これはうまいなあ。絶対値をとるかあ。それでは，各自その式をノートに書いてみてください。P₁君黒板に書いてください。

P₁ $\{|x_1 - \bar{x}| + |x_2 - \bar{x}| + |x_3 - \bar{x}|\} / 3$

T うん，よくできたね。えらいな。みんなもできたかい。

統計学では，これを平均偏差といいます。

えらいなあ，みんながこれを発見するなんて……。

P うふん。

T しかしねえ，残念なことに，誠に残念なことに，この平均偏差は，絶対値が入っているために以後の式変形がきゅうくつで，理論的な発展が望めないのです，理論上も実用上もあまり使われてはいないのです。

P うわー ガックリ。

T このずれを全部プラスに変えるのに，絶対値をとるというアイデアは本当にすばらしかったんだが，実際はそういったところなんです。もう一息，ほかに何かうまいアイデアはありませんか。